



甲府市に「9条の碑」建立・除幕式に参加 憲法9条を守り広めるために幅広く連帯しよう！

ストップ・リニア！訴訟、原告団代表の川村晃生さんが代表呼びかけ人を務める「甲府市に『9条の碑』を建立する実行委員会」は、甲府空襲から80年となる7月6日、山梨県甲府市中心部に建立した「9条の碑」の除幕式を行いました。

川村さんは建立にあたりメッセージで「今後、この9条の碑がここに立ち続けることによって、憲法が親しまれ、平和の大切さが人々に新たに自覚されることを祈っています」と語りました。

今回の「9条の碑」建立は、実行委員会の呼びかけに賛同した600名を超す個人・団体からの寄付によって実現したものです。私たちJR東海労も実行委員会の趣旨に賛同し、組合員のカンパにより積み立てた「平和・人権・民主主義を守るための連帯基金」から寄付を行いました。除幕式にはJR東海労から本橋書記長が参加し、「9条の碑」の建立を祝うと共に、あらためて憲法9条を守るための闘いを幅広くつくり出すために、あらゆる人々と連帯しなくてはならないと決意しました。



また除幕式終了後、国際ジャーナリストの伊藤千尋さんから「なぜ9条の碑を建てるのか」と題した講演があり、「なぜ、ナチスに虐殺されたユダヤ人が、今パレスチナ人を虐殺するのか」「それは軍事国家による教育」「戦争は憎しみの連鎖を生む」「憲法9条は国を超えて人類を守る」

「9条の碑は過去を記憶するのではなく、現在の社会を変え、将来に平和な世界をつくるためのもの」と、参加者に平和について考えさせる有意義な講演内容でした。



な講演内容
でした。

憲法9条
を守り広め
るために、
私たちは更
に連帯をつ
くり出しま
しょう！